

令和4年度  
決算報告書

令和4年4月 1日から  
令和5年3月31日まで

・貸借対照表	1 ページ
・正味財産増減計算書	2 ページ
・正味財産増減計算書内訳表	3 ページ
・財務諸表に対する注記	4 ページ
・附属明細書	5 ページ
・財産目録	6 ページ
・監査報告書	7 ページ

# 貸 借 対 照 表

(令和5年3月31日現在)

法人名：公益財団法人広島県スポーツ振興財団

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流動資産			
現金預金			
普通預金	23,936,356	24,599,133	△ 662,777
流動資産合計	23,936,356	24,599,133	△ 662,777
固定資産			
基本財産			
定期預金	32,963,000	32,963,000	0
投資有価証券	1,004,541,000	1,004,541,000	0
基本財産合計	1,037,504,000	1,037,504,000	0
固定資産合計	1,037,504,000	1,037,504,000	0
資産合計	1,061,440,356	1,062,103,133	△ 662,777
II 負債の部			
流動負債			
未払金	1,216,994	246,438	970,556
流動負債合計	1,216,994	246,438	970,556
負債合計	1,216,994	246,438	970,556
III 正味財産の部			
指定正味財産			
寄付金	1,037,504,000	1,037,504,000	0
指定正味財産合計	1,037,504,000	1,037,504,000	0
(うち基本財産への充当額)	(1,037,504,000)	(1,037,504,000)	( 0)
一般正味財産	22,719,362	24,352,695	△ 1,633,333
正味財産合計	1,060,223,362	1,061,856,695	△ 1,633,333
負債及び正味財産合計	1,061,440,356	1,062,103,133	△ 662,777

# 正味財産増減計算書

(令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 3 1 日まで)

法人名：公益財団法人広島県スポーツ振興財団

事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	9,170,659	9,170,659	0
基本財産受取利息	9,170,659	9,170,659	0
受取寄付金	5,000,000	5,000,000	0
受取寄付金	5,000,000	5,000,000	0
雑収益	255	198	57
受取利息	255	198	57
經常収益計	14,170,914	14,170,857	57
經常費用			
事業費	14,568,265	6,380,016	8,188,249
給料手当	933,700	935,000	△ 1,300
会議費	648	0	648
通信運搬費	84,550	87,661	△ 3,111
消耗品費	14,408	670	13,738
印刷製本費	10,000	0	10,000
光熱水料費	30,161	5,256	24,905
支払助成金	13,470,488	5,331,849	8,138,639
雑費	24,310	19,580	4,730
管理費	1,235,982	1,215,958	20,024
給料手当	765,000	763,500	1,500
会議費	27,600	0	27,600
旅交通費	92,800	76,400	16,400
通信運搬費	81,320	82,638	△ 1,318
消耗品費	9,541	0	9,541
印刷製本費	9,200	0	9,200
光熱水料費	27,832	2,732	25,100
租税公課	21,000	21,000	0
雑費	201,689	269,688	△ 67,999
經常費用計	15,804,247	7,595,974	8,208,273
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 1,633,333	6,574,883	△ 8,208,216
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 1,633,333	6,574,883	△ 8,208,216
經常外増減の部			
經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,633,333	6,574,883	△ 8,208,216
一般正味財産期首残高	24,352,695	17,777,812	6,574,883
一般正味財産期末残高	22,719,362	24,352,695	△ 1,633,333
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,037,504,000	1,037,504,000	0
指定正味財産期末残高	1,037,504,000	1,037,504,000	0
III 正味財産期末残高	1,060,223,362	1,061,856,695	△ 1,633,333

# 正味財産増減計算書内訳表

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

法人名：公益財団法人広島県スポーツ振興財団

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法 人 会 計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
經常増減の部				
經常収益				
基本財産運用益	8,253,593	917,066	0	9,170,659
基本財産受取利息	8,253,593	917,066		9,170,659
受取寄付金	5,000,000	0	0	5,000,000
受取寄付金	5,000,000	0		5,000,000
雑収益	0	255	0	255
受取利息	0	255		255
經常収益計	13,253,593	917,321	0	14,170,914
經常費用				
事業費	14,568,265		0	14,568,265
給料手当	933,700			933,700
会議費	648			648
通信運搬費	84,550			84,550
消耗品費	14,408			14,408
印刷製本費	10,000			10,000
光熱水料費	30,161			30,161
支払助成金	13,470,488			13,470,488
雑費	24,310			24,310
管理費		1,235,982	0	1,235,982
給料手当		765,000		765,000
会議費		27,600		27,600
旅費交通費		92,800		92,800
通信運搬費		81,320		81,320
消耗品費		9,541		9,541
印刷製本費		9,200		9,200
光熱水料費		27,832		27,832
租税公課		21,000		21,000
雑費		201,689		201,689
經常費用計	14,568,265	1,235,982	0	15,804,247
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 1,314,672	△ 318,661	0	△ 1,633,333
評価損益等計	0	0	0	0
当期經常増減額	△ 1,314,672	△ 318,661	0	△ 1,633,333
經常外増減の部				
經常外収益				
經常外収益計	0	0	0	0
經常外費用				
經常外費用計	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,314,672	△ 318,661	0	△ 1,633,333
一般正味財産期首残高	20,556,029	3,796,666	0	24,352,695
一般正味財産期末残高	19,241,357	3,478,005	0	22,719,362
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,037,504,000	0	0	1,037,504,000
指定正味財産期末残高	1,037,504,000	0	0	1,037,504,000
III 正味財産期末残高	1,056,745,357	3,478,005	0	1,060,223,362

## 財務諸表に対する注記

法人名：公益財団法人広島県スポーツ振興財団

事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・購入時の取得価額によっております。なお、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため、償却原価法は採用していません。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

### 2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	32,963,000	0	0	32,963,000
投資有価証券	1,004,541,000	0	0	1,004,541,000
合 計	1,037,504,000	0	0	1,037,504,000

### 3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	32,963,000	(32,963,000)	( 0)	( 0)
投資有価証券	1,004,541,000	(1,004,541,000)	( 0)	( 0)
合 計	1,037,504,000	(1,037,504,000)	( 0)	( 0)

### 4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
平成25年度第4回広島県公募公債	99,910,000	100,440,000	530,000
平成25年度第7回広島県公募公債	199,900,000	201,260,000	1,360,000
第151回利付国債(20年)	299,043,000	321,120,000	22,077,000
第154回利付国債(20年)	203,274,000	213,800,000	10,526,000
第163回利付国債(20年)	202,414,000	195,440,000	△6,974,000
合 計	1,004,541,000	1,032,060,000	27,519,000

## 附 属 明 細 書

法人名：公益財団法人広島県スポーツ振興財団

事業名：事業全体

### 1. 基本財産の明細

財務諸表に対する注記に記載をしているため、内容の記載を省略する。

### 2. 引当金の明細

該当事項なし。

# 財 産 目 録

(令和5年3月31日現在)

法人名：公益財団法人広島県スポーツ振興財団

事業名：事業全体

(単位：円)



貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金預金	広島銀行県庁支店(普通)	運転資金として 23,283,552		
		もみじ銀行広島中央支店(普通)	運転資金として 113,812		
		広島信用金庫八丁堀支店(普通)	運転資金として 538,992		
流動資産合計			23,936,356		
(固定資産) 基本財産	定期預金	広島銀行県庁支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 12,963,000		
		もみじ銀行広島中央支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 10,000,000		
		広島信用金庫八丁堀支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 10,000,000		
	投資有価証券	平成25年度第4回 広島県公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 99,910,000		
		平成25年度第7回 広島県公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 199,900,000		
		第151回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 299,043,000		
		第154回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 203,274,000		
		第163回利付国債(20年)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業及び管理費の財源として使用している。(共用財産) 公益目的費90% 管理費10% 202,414,000		
		固定資産合計			1,037,504,000
		資産合計			1,061,440,356
(流動負債)	未払金	支払事業費・管理費	年度を超える事業費・管理費の未払分。 1,216,994		
流動負債合計			1,216,994		
負債合計			1,216,994		
正味財産			1,060,223,362		

# 監査報告書

公益財団法人広島県スポーツ振興財団  
理事長 池田 晃 治 様

令和5年5月17日

公益財団法人広島県スポーツ振興財団

監事 吉永 浩之   
監事 尾木 朗 

私は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

## 1 監査の方法及びその内容

各監事は、重要な決裁書類等を見直し、理事等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

ア 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

イ 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。